

年を記念しての勳
進能で日本からは
100人程がそれ
それにグループで
参加。会場はカン
チエッレリア宮殿
という普段は非公
開の宮殿で300
人程が入る大きな



「羽衣」を観賞した。
バチカンと日本の国交樹立75周
年を記念しての勳
進能で日本からは
100人程がそれ
それにグループで
参加。会場はカン
チエッレリア宮殿
という普段は非公
開の宮殿で300
人程が入る大きな

●ローマ・バチカンに
ありがとう



夫婦ゲンカでもし
たのだからか、具合
でも悪かったのかと、主人と思うこ
とは心配な事ばかり。親心ですね、
電話をすれば済むことなのに、催促
するようで迷っていたところ、次女
が、私がお姉ちゃんに電話してみ
ると言っていました。二日後、すて
きな「せんす」が送られてきました。
ありがとうの電話をしながら娘の



●いつもお母さんありがとう

毎年父の日に嫁い
だ長女から届く贈り
物を楽しみにしてい
た主人でしたが、今
年は父の日に、何も
届かなかったのです。
夫婦ゲンカでもし
たのだからか、具合
でも悪かったのかと、主人と思うこ
とは心配な事ばかり。親心ですね、
電話をすれば済むことなのに、催促
するようで迷っていたところ、次女
が、私がお姉ちゃんに電話してみ
ると言っていました。二日後、すて
きな「せんす」が送られてきました。
ありがとうの電話をしながら娘の

また私は常々在住者のように過ご
したいとも願っていたので、今回も
地下鉄やバスに乗って、限られた滞
在期間ではあったが、地図を頼りに
街を散策し、博物館もコロッセオも
サンピエトロ広場もボルゲーゼ公園
も好きだけみることができた。
そして、一人旅の楽しさを味わい
自信も身につけて、無事帰国した。
将にありがとうローマ、バチカンで
ある。そして何より宝生流ご宗家は
じめ関係者の皆様に感謝したい。
(品川区/A・N)

元気な声を聴き、夫婦で胸をなで
おりました。娘夫婦は、お父さんに
何がいか迷いながら選んで、娘の
旦那さんが郵便局に行くからと言っ
て送ってくれたのだが、宅急便と違
い翌日着かなかったという、とんだ
ハプニングでした。
これから暑さに向かうので、主人
は大変気に入り大喜び。お婿さんと
娘からのプレゼントに家族は笑顔。
ありがとう。
(千葉市/T・M)

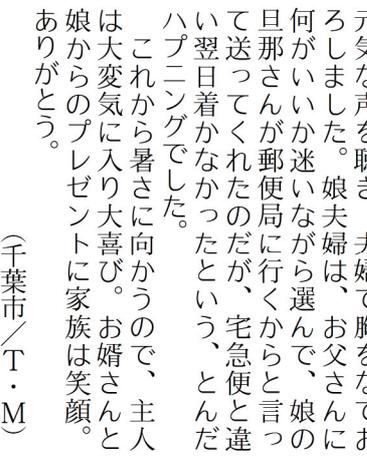
「いつもありがとう」仕事を終
えて帰宅すると、子供達が口々にし
ながらプレゼントをくれました。妻
も「いつもお疲れ様」と、夕食をテ
ブルに準備しながら労いの言葉を掛
けてくれました。
普段の生活で、駅や学校の送り迎
えをしたり、代わりにペットの世話
をしたり等々、いわゆるお世話を焼
いていることは多々ありますが(笑)、
親の役目の一つだと思っているの
で改めて表現をされると、照れるや
ら感激するやうで大変でした。
上の子からはボタンダウンのシャ
ツを、下の子からはタオルケットを
プレゼントされたのですが、何気な
い会話を覚えていてくれたのかと思
うと喜びもひとおでした。「暑い
ますのは、僕は汗かきなので「暑い
暑い」が口癖で、この時期シャツを
着ては「エリ首・袖口が汚れ始めた」
ですとか、朝に「暑くて寝苦しかつ
た」とこぼすようになっていたの
です。「プレゼントは消耗品が一番！」
ということも覚えてくれて感激です

しかし、そんな時に付
け加えられるのが、「必ず使ってね」と一
言。そうなんです、「想いが詰まった物」
をなかなか使うことが出
来ないんです。自分でプ
レゼントをする時は「開
けてみれば」とか「古い
物は捨てればイイじゃん」
なんて言いながら渡して
いるのですからイイ気なもんです(笑)。
誕生日の他に家族と心温まるふれあ
いが出来る父の日と、家族の温かい
思い遣りに「ありがとう」です。
(山武市/鵜川和宏さん)

●無傷にありがとう

交差点で信号が青になったので自
転車で渡ると、トラックがスピード
を出して走ってくるのが目に入った。
一瞬何が起きたかわからなかった。
車が急ブレーキをかけ、タイヤがこ
すれた、いやな臭いがして止まった。
運転手が降りてきて、「大丈夫です
か?」自転車とトラックがすれすれ
に通り過ぎ、紙一重で命拾いをして
安堵しました。
一つ間違えればどうなっていたの
か、本当に怖い思いをしました。こんなこと
もあるんだと初めての体験。目に見
えないものに助けられた瞬間でした。
命があつて後になって思えば思うほ
ど、あの状況で無傷で助かったのは
不思議です。
守って頂きありがとうございます
(文京区/I・E)

「想いが詰まった物」
をなかなか使うことが出
来ないんです。自分でプ
レゼントをする時は「開
けてみれば」とか「古い
物は捨てればイイじゃん」
なんて言いながら渡して
いるのですからイイ気なもんです(笑)。
誕生日の他に家族と心温まるふれあ
いが出来る父の日と、家族の温かい
思い遣りに「ありがとう」です。
(山武市/鵜川和宏さん)



●息子の贈物にありがとう



テレビのニュースを見ていた長男は、今年「父の日」の贈り物で人気が「ウナギ」と聞いて、会社の帰り有名店の行列に並び、ウナギを買って来てくれました。「混んでいて疲れたでしょう」「このお店は美味しくて皆で食べたかったから、時間待ちなんて気にならなかったよ」息子の優しさが伝わってきます。

翌日95才になる義母の誕生日のお祝いしよう、夕飯に皆でウナギを頂きました。さすが行列のできるお店やわらかくて、ちよっと甘めのたれが美味しく、驚いたことに、義母はペロッと一人前を完食したのです。孫がごちそうしてくれたことがありがたいと、その嬉しそうな顔を見て、「おばあちゃん、百才まで頑張ってるね」と皆で拍手。父の日と義母の誕生日、息子のおかげで楽しいひと時になりました。ありがとう。

(たいたま市/U・W)

●助けていただきありがとうございます

いつものように朝食を済まして、主人と息子は出勤。掃除を始めると、まいがし息苦しくなって意識が遠のいていく。ケータイで家族や友達に電話をしたがつながらず、意識がもうろうとする中で、向かいの奥さんにつなぐり助けを求めると、寝巻のまま飛んできてくれた。

次男の会社に電話してもらおうと、次男がすぐ来てくれたが、息子が来る頃には少し落ち着いて顔色も少しずつ戻り、休んでいたら大丈夫になってきました。お嫁さんも様子を見に来てく

れ、夕食の支度もしてくれて、ありがたいなあ。

息子が向かいの奥さんに、菓子折りを持ってお礼に。いよいよ子供の話になるようになったのかと老いを感じ、子供が心配するのを見て、自分の健康は自分で気をつけなければとつくづく思いました。すぐに飛んで来て下さった向かいの奥さん、遠くの親戚より近いが他人と言いますが、本当にこんな日がくるとは。



友達は病院に行ったほうが良いと、代わりに病院の受付をすまし、迎えに来てくれ、おかげで、すぐに診察。あれもこれもしなくてはとパニックにならないよう、出来ないことは出来ないとはっきり言いなさいとうながされ、安定剤を頂いて帰って来ました。これから日々の生活に気をつけようと思えました。

(杉並区/K・S)

●長男夫婦にありがとう

今年も長男夫婦から招待状が届きました。四・五年前より、母の日と父の日を兼ねて、六月の中旬、私達夫婦とお嫁さんのご両親を自宅に招いてくれるのです。

その日は、お嫁さんの手料理が食卓に並び、二人でおもてなしをしてくれます。お嫁さんのご両親とお会いする機会もなかなかないもので、一年に一度お会いしてお話が出来るとは、とてもうれいのです。

また、長男夫婦の仲の良さも目の前にして安心し、一日幸せな時を過ごすことができ、最高の母の日と父の日のプレゼントをいただきました。

(世田谷区/A・B)

●田中角栄の本にありがとう

田中角栄の本を読んだ。娘の眞紀子さんの著。今から二十数年前に脳梗塞で(75才)亡くなったが、総理大臣になった時、今太閤と言われた人。学歴は高等小学校卒。並みいる東大卒の議員をしりぬに、日本の将来を担った人。私は当時、若い人が総理大臣になつたと驚いた。一度決断したことは必ず実現させる。稀にみる、強い意志の持ち主。頭の回転の速さはずば抜けていた。コンピューター付ブルドーザーと、コンクリート、直観力にも長けていた。また、日本列島改造に力を注いでいた。郵政大臣、党幹事長、党政調会長、大蔵大臣、通商産業大臣、内閣総理大臣を歴任。

なせ、今、角栄が。日本の政治は混沌としている。角栄がいたら、総理ならと、万人が望むところ。また、日中国交回復、正常化に尽力したことは国民の大多数が知っている。人間的魅力が中国側にも伝わった。その記念に初めて、パンダのランラン、カンカンがやってきた。めずらしいパンダに上野動物園の入園者が急増した。今年、シンガポールがパンダの赤ちゃんを産み、未公開だが、上野は賑わっている。メスの赤ちゃんで、成長が待たれている。角栄の銅像が、上越新幹線浦佐駅前に立っている。生前、「くだらんことだ。人の評価は、時と共に変化すること。後の世に名を残したいと考えること自体がつまらんことだ！」本人の言う通り、生前には銅像は立たなかったが、地元新潟県の信頼は絶大だった。晩年は、ロッキード事件や病との戦いで、平穏に過ごせなかったが、角栄の名はいく、胸の高鳴りと共に本を読んだ。田中角栄に感謝。

(目黒区/H・O)

【携帯 Deショット】

映画「サウンドオブミュージック」で歌われた『エーデルワイス』。鉢植えから地植えにしてみました元気が出てきたようです。エーデルワイスは、ドイツ語で「高貴な白」という意味です。濃い純白のやや厚い花弁に見えるのは葉の変形したもの。中心の黄色い部分花です。



【花言葉】大切な思い出、勇氣

●携帯電話の方はQRコードから →→→
●パソコンの方は下記のURLから ↓
<http://1039.seesaa.net/>
●メールでのご投稿は…
info@arigatou-mail.com
【編集・企画】株式会社ありがとう・不動産 編集部
●株ありがとう・不動産HP <http://www.arigatou-1039.com/>



【原稿をお待ちしています。】

本誌は北海道友人知人から寄せられている「だいたいのことば」を、因うだしの詩、俳句、短文、写真、絵画などを掲載します。送る作品は編集部まで送ってください。投稿は「たまたま」をプレゼンツとしていただきます。皆様からのご投稿、ご意見、ご提案をお待ちしております。また、ご縁と感謝を伝えたい方が増えています。

